

# 令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名 ( 石川県立盲学校 )

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクールライブラリー動画視聴 【個別研修】	GIGAリーダー	
5月	前年度のキャッチアップ研修①(クラウド、サビエ等) 【個別研修】	GIGAリーダー	
6月	GoogleフォームによるGIGA個人目標の設定 前年度のキャッチアップ研修②(ブレイルセンス、ファイル共有等) 【個別研修】	GIGAリーダー	授業実践と若プロ、全体研修を関連させながら学校全体で進めている。
7月	「視覚障害を補うオンライン辞書の活用」 ICT端末を活用した授業実践① (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	高等部 普通科 (現代文)	
中間目標	各教員がGIGAスクール構想について理解し、生徒の実態に応じてICT環境を選択し、児童生徒の学びに活用する。		
8月	情報モラル・情報セキュリティ研修 【全体研修】	GIGAリーダー	
9月	「1人学級における対話的学習場面の設定」 ICT端末を活用した授業実践② (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	小学部 (国語)	
10月	「音声読み上げソフトによる症例問題の実践」 ICT端末を活用した授業実践③ (指導案検討、授業実践、整理会) 【若手教員早期育成プログラム連携・グループ研修】	高等部 専攻科理療科	ICT支援員と連携して、校内研修を実施している。
11月	初級ロイノート研修会 【全体研修・オンデマンド配信】	ICT支援員 GIGA推進	
12月	「ブレイルメモとクラウドの連携による学習」 ICT端末を活用した授業実践④ (先輩教員師範授業、教員間対話) 【若手教員早期育成プログラム連携・個人研修】	GIGAリーダー 中学部 (数学)	
中間目標	各教員が学習活動におけるICTの有効的な活用方法を実践し、教員間での情報共有や指導をおこなうことで業務の効率化、学びの多様化が実現できる。		
1月	中級ロイノート研修会 【全体研修・オンデマンド配信】	ICT支援員 GIGA推進	各教職員が年度初めにGIGA個人目標を設定している。年度末には実践報告と自己評価を実施している。
2月	校務分掌におけるICT活用の提案 (クラスルーム、クラウド共有、権限付与、内部情報系等) 【グループ研修】	GIGAリーダー	
3月	個人目標に対する実践報告及び評価 (フォーマット自由でICTを用いて行う) 【個別研修】 GIGAスクール構想推進実践報告会 (今年度の報告を校内サイトにて実施) 【全体研修】	GIGAリーダー	
<b>目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各教職員が年度初めにGIGA個人目標を設定し、研修での学びや他事例の活用、日々の研鑽を積むことで、年度末には目標を達成している。</li> <li>児童生徒が抱えるICTに関する悩みを他教員と連携しながら積極的に解決する姿勢を持ち、生徒の気づきや学びに貢献している。</li> <li>本研修で学んだ知識や技能を用いて、自身の授業の中で意図的かつ効果的にICTを取り入れている。</li> <li>児童生徒のICT活用について、若手教員育成プログラムとベテランの教職員間で活発な意見交換を行う姿がみられる。</li> <li>児童生徒がブレイルセンス(点字入出力方式の音声・点字携帯情報端末)を使用して、サビエ図書館で本を借りて読むことや親しむことができる。</li> </ul>			

## 成果

- 若手教員早期育成プログラムと連携することで、ICTを活用した授業研究を行う機会が増加した。指導案検討→授業実践→整理会までの一連の流れの中で、様々な学部や教科での活用方法について学んだ。自身の授業に取り入れることで児童生徒の学習時の新たな気づきや喜びにつながり、学びの質を向上させることができた。
- ICT支援員の持つ専門的なスキルを活用し、教員が抱える悩みやトラブル、設定などの問題解決を図ることで、業務負担の軽減や教材研究に充当する時間の増加に繋がった。
- 学校全体でロイノート研修会を実施した。機能の説明に合わせて、教職員がお互いの進捗状況を確認して教え合いながら研修を進めることで、得意不得意を問わず教員間で気軽に相談できる雰囲気を作ることができた。
- 児童生徒がブレイルセンス(点字入出力方式の音声・点字携帯情報端末)やタブレット端末の音声読み上げソフトを使用して、GoogleClassroom等のクラウドサービスを利用することができた。

## 課題

- ロイノートでは音声読み上げが対応されていないため、全盲児童生徒の使用が難しい。研究対象などに設定することで活用方法について考える機会を増やし、活用の幅を広げたい。
- 盲学校の授業で効果的なICTの活用について、まだまだ分からないという声もある。効果測定をして、ICT活用の有無での実績を比較することで、客観的なデータを元に学びの質の向上を理解し、その手立てを共有していきたい。
- 寄宿舎でWi-Fi環境の整備が完了したため、自主学習や課題学習でタブレット端末の活用を進めていきたい。
- 学習活動の中で、意図的かつ効果的なICTの活用という面ではまだ進んでいない部分がある。ICTでしか出来ない活動を各教職員が考え、良い実践例を進んで共有することで、ICTを活用した授業が与える恩恵を知ってほしい。